

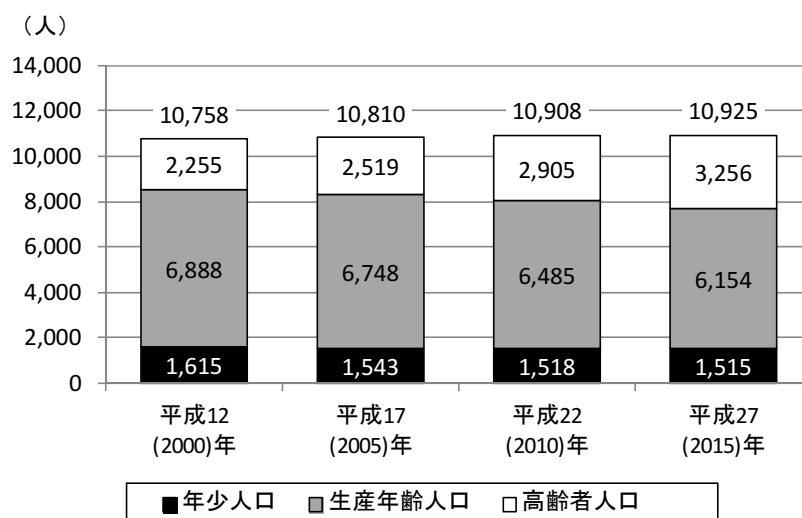
## 第2章 里庄町の現状と課題

### 1. 人口と世帯の状況

里庄町における年齢3区分別人口の推移を見ると、平成12（2000）年以降15歳未満の「年少人口」、15歳から64歳までの「生産年齢人口」はともに減少しているのに対し、65歳以上の「高齢者人口」は年々増加を続けており、少子高齢化が進んでいます。

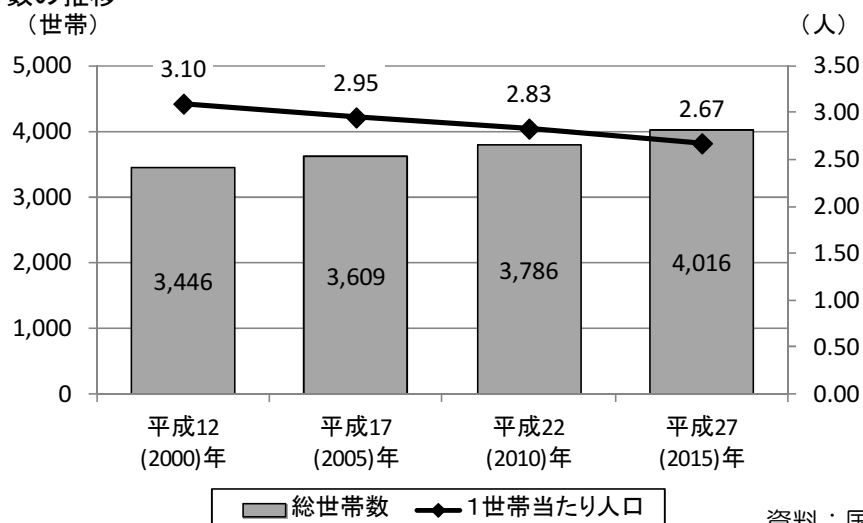
また総世帯数の推移を見ると、総世帯数は年々増加を続けているのに対し、1世帯当たりの人口は減少しており、世帯人員の減少が進んでいます。

#### ■年齢3区分別の人口推計



資料：国勢調査

#### ■総世帯数の推移



資料：国勢調査

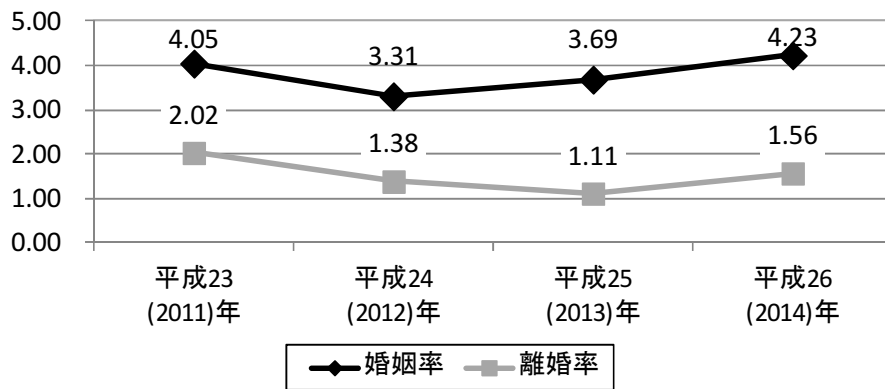
## 2. 結婚・出産の状況

### (1) 婚姻率と離婚率の推移

里庄町における婚姻率と離婚率の推移を見ると、婚姻率は平成 25（2013）年から年々増加しています。離婚率は平成 23（2011）年以降、徐々に減少し、平成 26（2014）年から増加に転じています。

#### ■婚姻率と離婚率の推移

(人口千対)



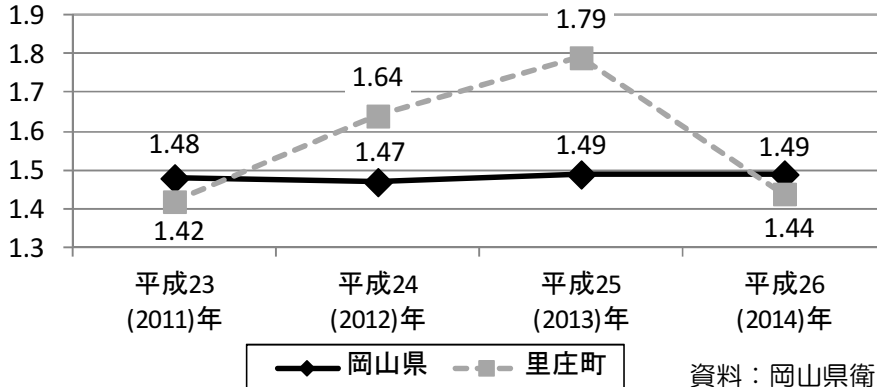
資料：岡山県衛生統計年報

### (2) 合計特殊出生率の推移

里庄町の女性が一生の間に生むと推定される子どもの数を表す「合計特殊出生率」は、平成 23（2011）年から年々増加し、平成 25（2013）年に最も高くなっています。平成 24（2012）年、平成 25（2013）年には岡山県全体の合計特殊出生率を上回っています。

#### ■合計特殊出生率

(人)

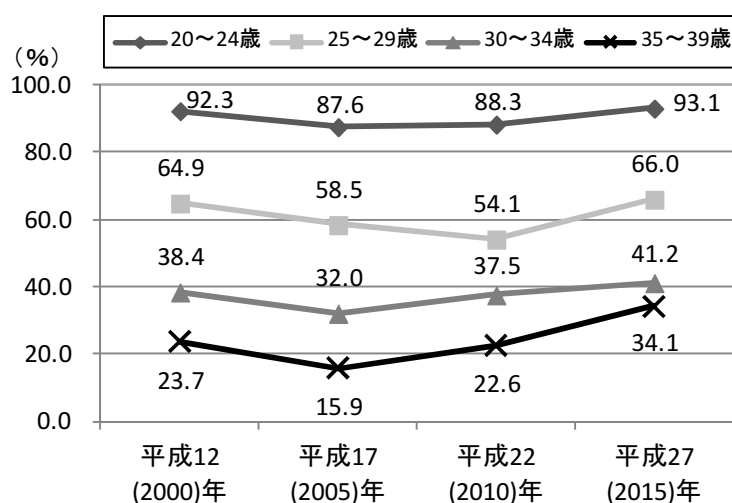


資料：岡山県衛生統計年報

### (3) 未婚率の推移

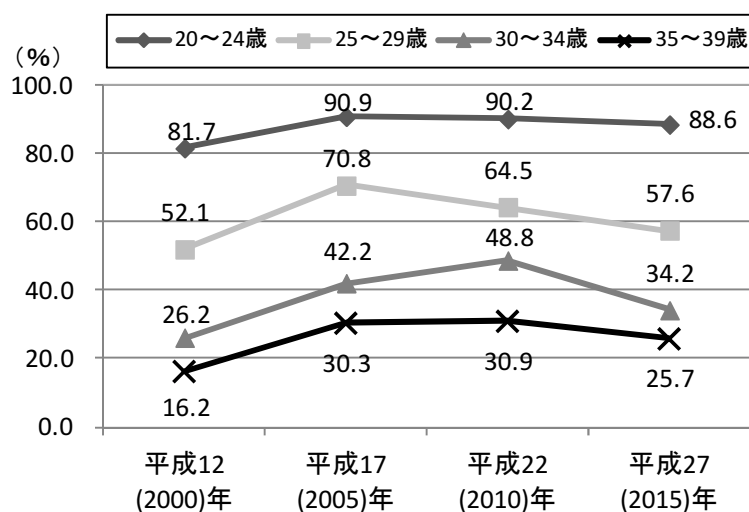
里庄町における男性の未婚率の推移を見ると、20 歳代、30 歳代ともに平成 22 (2010) 年以降増加傾向にあります。また女性の未婚率の推移を見ると、平成 12 (2000) 年から平成 17 (2005) 年は増加傾向にありましたが、平成 27 (2015) 年には 20 歳代、30 歳代ともに未婚率が低下しています。特に、30 代前半の未婚率が平成 22 (2010) 年と平成 27 (2015) 年を比べると 14.6 ポイント低下と大きく変化しています。

■未婚率の推移 (男性)



資料：国勢調査

■未婚率の推移 (女性)



資料：国勢調査

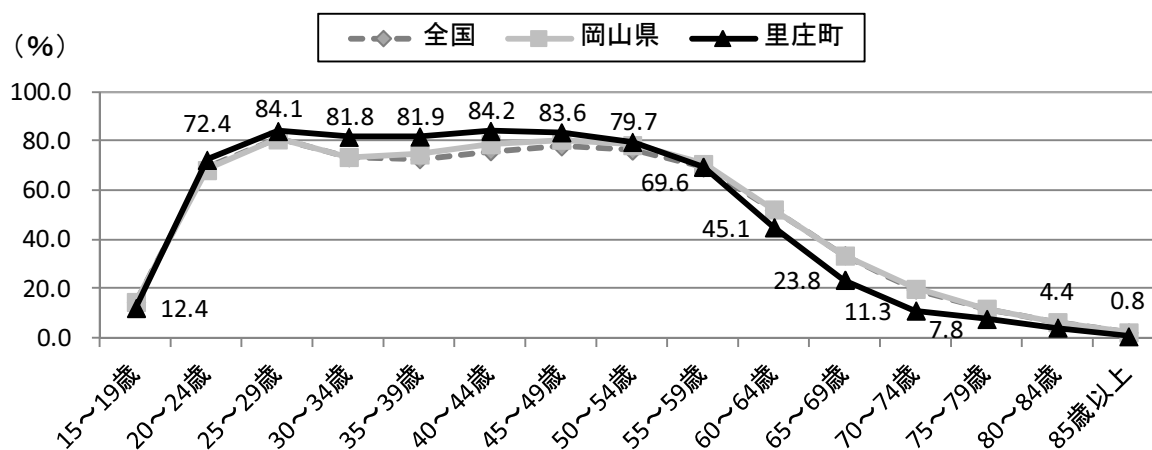
### 3. 就労の状況

#### (1) 女性の労働力の推移

里庄町における年齢別女性の労働力率を岡山県、全国と比較すると、20歳から54歳までの労働力率が岡山県、全国を上回っており、出産・育児期に当たる20～30歳代での労働力率の低下があまり見られません。

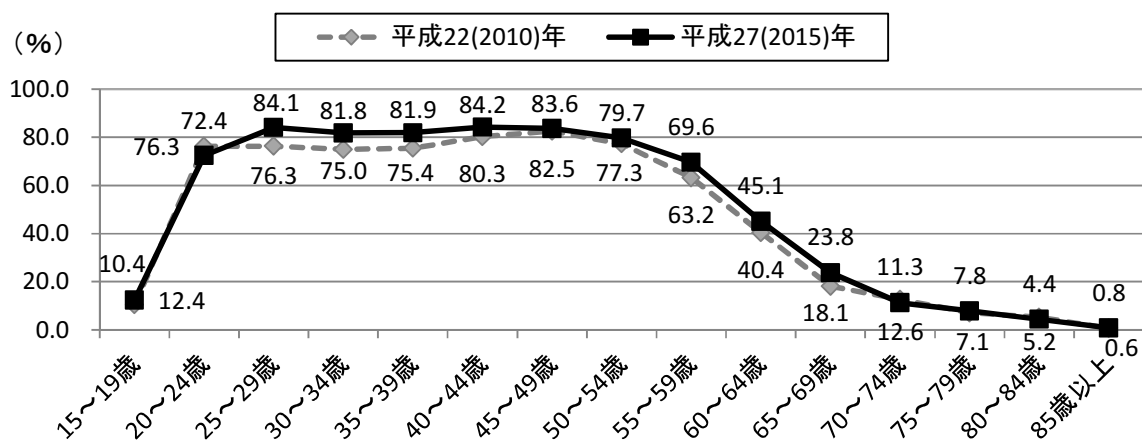
また、平成22(2010)年と比べて平成27(2015)年では、25歳～69歳の労働力率が特に高くなっています。

■里庄町の年齢別女性の労働力率と全国、県数値との比較



資料：平成27(2015)年国勢調査

■里庄町の年齢別女性の労働力率の推移



資料：国勢調査

## 4. 目標値と現状値

### (1) 前計画の目標値と現状値

平成 25 (2013) 年 3 月に策定した「第 2 次里庄町男女共同参画基本計画」において定めた、具体的な数値目標を評価します。

基本目標	番号	事柄	前回策定時の現状値	前回策定時の目標値	現状値
基本目標1 男女共同参画を目指す意識づくり	1	広報紙等の各種媒体を利用した男女共同参画の周知	10回 (平成24年度)	20回/年度	4回 (平成28年度)
	2	男女共同参画に関する職員研修の開催	1回 (平成24年度)	3回 (計画期間内)	0回 <sup>3</sup> (平成28年度)
	3	教育関係者および PTA を対象とした男女共同参画研修会の開催	1回 (平成24年度)	3回 (計画期間内)	3回 (平成28年度)
	4	町内の小・中学校が実施する社会体験学習の受け入れ	4回 (平成24年度)	現状維持	3回 (平成28年度)
	5	社会通念・慣習・しきたりにおいて男女の地位が平等だと思ふ人の割合を増やす	12.2% (平成24年度)	20.0% (平成29年度)	15.8% (平成29年度)
	6	「夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい」という考え方に対して反対、どちらかといえば反対と思ふ人の割合を増やす	38.1% (平成24年度)	45.0% (平成29年度)	41.0% (平成29年度)
基本目標2 あらゆる分野への男女共同参画の推進	7	町の審議会や委員会の委員募集における公募の実施	1回 (平成24年度)	2回 (計画期間内)	2回 (平成28年度)
	8	町の審議会や委員会の委員における女性の割合	29.2% (平成23年度)	40.0% (計画期間内)	33.0% (平成29年度)
基本目標3 人権が尊重され、心身ともに健康で安心して暮らせるまち	9	自分自身がセクシュアル・ハラスメントの被害にあった人の割合を減らす	男性 3.9% 女性 13.3% (平成24年度)	男性 1.0% 女性 5.0% (平成29年度)	男性 2.9% 女性 14.1% (平成29年度)
	10	DVの被害を受けた人のうち、公的機関等に相談した人の割合を増やす	4.7% (平成24年度)	10.0% (平成29年度)	2.2% (平成29年度)
	11	乳がん検診受診率の増加	55.3% (平成23年度)	60.0% (計画期間内)	55.4% (平成28年度)
	12	子宮がん検診受診率の増加	67.5% (平成23年度)	72.0% (計画期間内)	61.0% (平成28年度)
	13	前立腺がん検診受診率の増加	73.7% (平成23年度)	78.0% (計画期間内)	76.3% (平成28年度)
基本目標4 男女がともに働きやすい環境づくり	14	職場の中で男女が平等と思ふ人の割合を増やす	23.9% (平成24年度)	30.0% (平成29年度)	24.6% (平成29年度)
	15	男性のための研修会(父と子を対象とするものも含む)の開催	4回 (平成24年度)	4~6回 /年度	6回 (平成28年度)
	16	保育料2人目以降無料制度の維持	現状維持	現状維持	現状維持
基本目標5 家庭や地域でのびのびと安心して過ごせるまちづくり	17	家庭生活の中で男女が平等と思ふ人の割合を増やす	29.0% (平成24年度)	35.0% (平成29年度)	30.0% (平成29年度)
	18	保育料2人目以降無料制度の維持【再掲】	現状維持	現状維持	現状維持
	19	子育てひろばげんキッズ利用者の増加	4,869人 (平成23年度のべ参加者)	現状維持	5,486人 (平成28年度)

<sup>3</sup> 外部の研修に参加